土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川　三津大川水系　三津大川　災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　二級河川　三津大川水系　三津大川

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	№.3	**調査位置**	広島県東広島市安芸津町三津			**北緯**	34° 19′ 11.1519″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2021年 8月 2日 ～ 2021年 8月 7日	**東経**	132° 48′ 59.8511″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 5.17m	**角度**	180°／上下／90°／0°／0°	**方位**	北 0°／270 西／90° 東／180° 南	**地盤勾配**	水平0°／鉛直 90°
総削孔長	15.00m	**使用機種**	試錐機：YBM-1WA／エンジン：ヤンマーTR120M／ポンプ：YBM GP-5				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1～3	1.57	3.60		埋土		暗灰～黄褐灰	rd2		完新世	深度0.5m付近まで砕石で、以深は礫混り砂。 深度1.6m付近よりφ20～70cmの玉石混り砂。 ボーリング地点は深度1.95mまで空洞（VP管保孔）、以深、今回埋戻しの砕石。 深度2.5～2.6mはCoガラ混入する。 深度2.6m～3.5mは岩片～L=100mmまでの礫が混入する。 全逸水。	08.05 2.10 08.04 3.50
4～6	-1.33	6.50		砂礫		暗灰～灰褐	緩い中位～ゆるい			礫はφ50mmまでの亜円礫主体。 砂は細砂主体。 深度5.00mまで掘削時、全逸水する。 深度5.8m付近にt=5cmで暗灰色の有機質土を挟む。	
7～11	-6.13	11.30		玉石混り砂礫		褐～青灰	密～非常に密な		更新世	深度8mまでφ150mm程度までの玉石が50%程度占め、玉石間は粗砂主体。 深度8～10m間は、Φ80mm～200mm程度の玉石が80%程度以上占め、玉石間は細～中砂、細礫が埋める。 玉石は硬質な流紋岩主体で、花崗斑岩も混入する。 深度10m以深はやや砂分優位となる。	
12～15	-9.83	15.00		砂岩・礫岩		褐灰～暗青			漸新世	岩片～L=300mm程度の棒状コアで採取される。 棒状コアのものは、コア肌は荒く、ハンマーの軽打では濁音を発する。 深度12m～14m間は、岩片状～礫状コア主体となる。	

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	4.15	2	2	3	7/300		
20	4.45	6	7	7	20/300		
28	5.45	9	9	10	28/300		
58	6.45	20	18	12	50/260	260	
58	7.41	18	18	14	50/260	260	
63	8.26	20	19	11	50/240	240	
45	9.24	15	14	16	45/300		
65	10.45	11	17	22	50/230	230	
136	11.38	41	9		50/110	110	
188	12.11	50			50/80	80	
300	13.08	50			50/50	50	
375	14.05	50			50/40	40	
	15.04						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					8/3
					8/4
					8/5
					8/6